

政策	豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実	施策	生涯学習の充実	基本事業	生涯学習機会の充実		
部名	教育部	事業開始年度	- 年度	区分1	継続	実施計画事業認定	非対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	満65歳以上の学習意欲のある市民
意図	高齢者ひとり一人が自立と連帯の精神に満ちた豊かで活力のある生活の維持を図るとともに、異世代間の交流、仲間づくりを促進し、習得した知識や技術経験を活かした地域社会への参画を促進する。
手段	・毎年4月に100名の定員で募集、就学年限2年間・5月～3月まで毎月1～2回学習会を開催。午前は現代的課題や歴史等をテーマに講師を招き全体で学ぶ教養講座、午後は各自選択別に専攻講座(6講座)を受講。その他研修旅行・新年会・地域活動などの特別行事の開催、年度末に記録文集を発行 会場 野幌公民館 年会費1人3,000円

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度予算	23年度予算	目標
対象指標1	65歳以上の市民の数	人	25,980	26,383	25,627	27,078	
対象指標2							
活動指標1	講座開催数	回	62	62	62	62	
活動指標2							
成果指標1	学生数	人	107	110	130	130	
成果指標2	学習の成果を地域で実践した学生の割合	%	84.2	81	80	80	
単位コスト指標							
事業費計(A)		千円	657	628	645	650	0
正職員人件費(B)		千円	2,090	2,075	2,082	2,037	0
総事業費(A)+ (B)		千円	2,747	2,703	2,727	2,687	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案(2月時点)	

23年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持 : 現状の目的や方法に変更がなかつ23年度実施する事業
- 見直し : 現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止 : 21年度もしくは22年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
- 新規 : 23年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性(コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性(成果)	向上			
	維持			
	放低置下			